

別添 7 - 5 (第 3 の 2 関係)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和3年度）

都道府県名 香川県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当 額(円)	
日本版畜産 G A P 指導活 動の推進	2 経営体	3 経営体	150%	A	0	0	
日本版畜産 G A P 等認証 の取得拡大	1 経営体	1 経営体	100%	A	150,000	150,000	
事業の成果 日本版畜産 GAP 等の認証取得を目指す畜産農家 2 経営体（高橋畜産株式会社、合田牧場）に対して、農家指導（県単事業）を行った。 また、高松地域の肉牛農家 4 戸が団体認証を目指す上で、パイロット的役割を担う畜産農家 1 経営体（株式会社多田牧場）に対し、日本版畜産 GAP 等の認証取得に向けた指導（県単事業）を行った。その結果、令和 4 年 2 月に JGAP 家畜・畜産物の認証を取得した。							
都道府県による評価 当初の目標を達成することができた。今後は、JGAP 家畜・畜産物の認証を取得したパイロット的役割を担う畜産農家 1 経営体をモデル農家として高松地域の団体認証を目指す。加えて、他の地域における JGAP 家畜・畜産物の認証取得農家が増えるよう、引き続き農家支援に取り組んでいく必要がある。							
国による評価 J G A P 指導活動の推進は、目標値を上回る指導実績となった。指導員が 3 戸の農家（高橋畜産株式会社、合田牧場及び株式会社多田牧場）へ複数回濃密な現地指導を実施した結果、農家の J G A P 認証取得に向けた理解醸成が図られ、そのうち 1 戸（株式会社多田牧場）は J G A P 認証の取得に至った。高松地域でパイロット的役割を担う株式会社多田牧場が J G A P 認証を取得したことは、将来的な高松地域での団体認証取得に向けた大きな一歩となった。なお、当該農家への現地指導は県単事業で取り組んだため、事業費実績は 0 となっている。							